

この映画は全てを失った人間が再び希望を取り戻す物語です。

どんな状況でも生き抜く姿を通じて、希望と夢をもらえる

映画になると思っています。—— 監督：カン・ジェギョ



アジアからノルマンディーまで240日に及ぶ大陸横断ロケ
映画史上最大のスケールで贈る感動と絆の物語。

『シュリ』『ブラザーフッド』のカン・ジェギョ監督7年ぶりの最新作。

壮大なるスケールを映像化するため、韓国映画史上最高の25億円の製作費が投じられ、
アジアからヨーロッパまで240日に及ぶ大陸横断ロケを敢行。

スタッフ・キャストは総勢7,000人を超え、最新のカメラ技術で今まで体験したことのない

迫力の映像が完成した。このリアルな戦闘シーンは、

二人の感情もリアルに表現し、誰も想像出来ない、感動のラストを盛り上げる。

myway-movie.com 監督：カン・ジェギョ『シュリ』『ブラザーフッド』 出演：オダギリジョー チャン・ドンゴン ファン・ビンビン

提供：CJ ENTERTAINMENT AND SK PLANET 配給：CJ Entertainment Japan / 東映 宣伝協力：KICCORIT ©2011 CJ E&M CORPORATION & SK PLANET. ALL RIGHTS RESERVED



【真実を基に作られた“マイウェイ”の世界】

● 発見された一枚の写真

ノルマンディー上陸作戦後に撮られた一枚の写真。そこには連合軍の尋問に答える一人の東洋人の姿があった。彼が語りはじめたのは、アジアからノルマンディーまで、3つの軍服を着て生き抜いたという信じられない話だった。



資料写真：アメリカ国立公文書館

● 歴史的な金メダル

1936年、ベルリンオリンピックの男子マラソンでは、朝鮮のソン・ギジョンが日本代表として金を獲得。祖国の代表として走れず、表彰台で「君が代」を聞きながら涙を流した。

● ベルリンオリンピック、熾烈なマラソン代表争い

代表枠3つのうち、なんと日本人二人を代表にしたかった大会関係者はあらゆる手を使うが、結局代表枠には日本人一人と朝鮮人二人が並んだ。

● 幻と消えた東京オリンピック

第12回オリンピック開催地は東京に決まっていた。しかし日本は日中戦争の影響により開催を返上。代替地でも中止となり、選手たちの夢は途絶えた。

1月14日[土] 全国公開

『マイウェイ』マガジン登場！

本作の全てが解る!8P大特集のフリーマガジン。
スマホやPCでも閲覧可能!【特別編集:びあ】
(※12月中旬から配布/配信開始予定。詳細は公式HPで。)

BASED ON A TRUE STORY

着るこことになつた数奇な運命。

日本ソ連・ドイツ3つの軍服を

全てを失っても、走り続けた——



オダギリジョー チャン・ドンゴン

マイウェイ

12,000キロの真実

myway-movie.com

©2011 CJ ENTERTAINMENT AND SK PLANET. ALL RIGHTS RESERVED

監督：カン・ジェギョ『シュリ』『ブラザーフッド』 提供：CJ ENTERTAINMENT AND SK PLANET 配給：CJ Entertainment Japan / 東映 宣伝協力：KICCORIT

CJ ENTERTAINMENT AND SK PLANET PRESENT A DIRECTORS PRODUCTION A KANG JE-KYU FILM JANG DONG-GUN ODAGIRI JOE FAN BINBING
"MY WAY" MUSIC BY LEE DONG-JUN VISUAL EFFECTS SUPERVISORS KANG JONG-IK SON SEUNG-HYUN SPECIAL EFFECTS SUPERVISOR JUNG DO-AN
STUNT COORDINATOR PARK JU-CHUN SOUND RECORDIST HAN CHUL-HEE SOUND DESIGNED BY KIM SUK-WON KIM CHANG-SUB
COSTUME DESIGNER KIM JUNG-WON MAKE UP AND HAIR BY LEE SEO-JIN PRODUCTION DESIGNER CHO GEUN-HYUN EDITED BY PARK GOK-JI
LIGHTING BY OH SEUNG-CHEOL CINEMATOGRAPHER LEE MO-GAE LINE PRODUCER SONG MIN-KYU PRODUCED BY KANG JE-KYU KIM YONG-HWA
SCREENPLAY WRITTEN BY KIM BYUNG-IN NA HYUN WRITTEN AND DIRECTED BY KANG JE-KYU

1月14日[土] 全国公開

長谷川辰雄 [オダギリジョー]

夢と友情を捨て、冷酷な軍人として生きることを決めた
全てを捨て去り、国に命を捧げた男。だが敗北により敵国の捕虜に。
信じるもの全てを失った時、彼が気付いた生きる意味とは――。



オリンピックを夢見る
二人の青年。しかし時代は
国籍の違う彼らの友情を
許さなかった

5年間、12,000キロの旅で気付いた生きる意味

ラストに待ち受ける 感動があなたの生き方を変える

■ 消えたオリンピックの夢

1928年、日本占領下の朝鮮。憲兵隊司令官を祖父に持つ辰雄は、
使用人の息子ジュンシクと出会う。走ることが好きな二人はライバル
として成長し、オリンピックのマラソン金メダルを夢見るが、いつしかそ
の関係は国同士の戦いとなり、憎しみ合うようになる。そして、オリンピッ
ク選考会で事件は起こり、ジュンシクは罰として日本軍に強制徴用
され、戦況の悪化により辰雄も戦場へ。二人の夢は消えた。



■ 運命の再会

日本軍として戦うことを強いられたジュンシク。それでも彼は夢を信
じ、戦場でも走り続けていた。
そこに冷酷な軍人に変貌を遂げた辰雄が上官として現れる。ジュン
シクの走る姿に嫌悪感を抱く辰雄は、ソ連との戦いの特攻隊にジュ
ンシクを任命した。
この時、夢を諦めた辰雄は、友情も捨てた。



キム・ジュンシク [チャン・ドンゴン]

夢を諦めず、どんな時でも走り続けた

たとえ何を奪われても、決して夢を諦めない男。過酷な状況の中でも
オリンピック金メダルの夢だけを糧に、遙かな旅路を生き抜く。



二人が歩んだ
道のり

■ 絶望、そして究極の選択

死闘の末、ソ連に敗退した日本は捕虜になってしまう。さらにドイツと
の戦況が悪化し、(ソ連軍として戦うか、ここで死ぬか選べ)という究
極の選択を迫られる。国に命を捧げ、戦ってきた辰雄だったが、その
時彼は誇りを捨て、生きることを選んだ。
そして、彼が戦場で見たのは、特攻を指揮するかつての自分の姿。
彼は一人の人間として生きる意味について考え始めた。



■ 全てを失って気付いた大切なこと

ドイツにも敗れ、たどり着いたのは故郷から12,000キロ離れたノル
マンディー。夢・友情を捨て、国・誇りを無くし、全てを失っても、それ
でも生きることを選んだのは何故か? どんな時も変わらないジュン
シクにより、気づかされた大切な“生きる道”とは?
共に故郷に帰ろうと決めたその時、非情にもノルマンディー上陸作
戦の火ぶたは切って落とされた。果たして二人の運命は?

